

《校訓》 敬愛 探求 進取  
 《教育目標》 高い知性と優れた徳性，そして強健な身体を持ち，国内はもとより，広く国際的にも通用する豊かな識見を備えた，新しい時代の社会に貢献する人間の育成を図る。  
 《教育方針》 敬愛と協調心の育成 学力の充実と探求心の育成 公正な判断力と進取の精神の育成

《教育基本法 第1条》  
 教育は，人格の完成を目指し，平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

《スローガン》 自由と創造 主体的に判断・行動する力を備え，これからの地域や社会を形成し未来を創造できる，心身ともに健康な市民へと成長する。

《今年度重点目標》

◆ 何ができるようになるか ～未来の創造に必要な資質・能力～  
 地域・社会貢献意欲 自己調整力・自己決定力 学び続ける力  
 達成感・自尊感情 対話力・共感力・合意形成力 他者と関わる力

◆ 何を学ぶか

- 基礎・基本の知識・技能の習得
- 探究的活動（街ライブラリー，街ミッション，街クエスト，作戦会議，地域課題研究）
- 主体的・意欲的な特別活動・部活動（学校行事，HR活動，異文化理解，防災）
- 本物にふれる機会（講話，ボランティア）
- 自主的な探究活動（放課後マイプロ部）

◆ どのように学ぶか

- 主体的・対話的で深い学び（ICT活用，AL型授業，教科横断的学習）
- 協働的な学び，社会に開かれた教育課程（地域との連携協働，外部人材活用）
- 学びの個別最適化（多様な進路へ対応）
- 生徒とともに学び続ける職員集団（先生マイプロ，視察・研修への参加）

◆ 何が身についたか ～目標（ゴール）の明示と共有～  
 ● 学習成果の見取り，評価の研究（観点別評価・作問研究）  
 ● 生徒の自己評価力・自己調整力獲得への支援（ポートフォリオ活用，学びとキャリア形成の関連付け）

《教育活動を支える力》

学びの土壌づくり

- 心理的安全性が保障される安心安全の土壌（失敗の許容）
- 他者との協働が生まれる多様性の土壌（個の尊重）
- 問い問われ振り返りを促す対話の土壌（本音の尊重）

地域や社会への橋渡し

- 地域との連携（自治体・NPO・中高大学）
- 保護者との連携（PTA活動，学校公開）
- 情報発信，HP活用，学校間交流

通いたくなる・働きたくなる環境づくり

- 特色ある・魅力ある学校づくり
- 通いたくなる学校（中退・不登校率0%）
- 働きがいある職場（ワークライフバランス）